

広報

FUKUI

FUKUI CITY PUBLIC RELATIONS

広報ふくい

2

2023.10
NO.1608

ホツトな笑顔で、氷も溶かせ！



特集

DXなんて怖くない！
ゆるくてやさしいデジタルの話



福いいね!

いまの時代、自分からアピールしなきゃ!



1.ふるさと納税をテーマにした「でんがく」の様子 2.スマホ教室の様子。ちょっとした疑問もボランティアたちに聞けば解決 3.二次元コードの読み取りもマスター 4.スマホの使い方が話題なら、年齢差があっても会話が弾む

**福井市地域コミュニティ DX 推進事業
地域プロジェクトマネージャー
高橋要さんに聞きました！**



「福井市地域コミュニティ DX 推進事業」は、福井市のあらゆる地域に、デジタル技術を通じたより良い暮らしが実現することを目指しています。

デジタル化は、それ自体が目的ではなく、あくまでも手段。個人のデジタル活用力向上だけでなく、デジタルを巡る格差を解消すること、そして、それらを持続的なものにするための仕組みづくりが重要です。

今は殿下がモデル地区となっていますが、今後はそこで得られた知見と経験をもとに、市全体にデジタル技術の効果を広げていけるよう引き続き活動を続けていきます。地域の運営に携わっている市民の皆さん、ご協力をよろしくお願いします。

DX ディーエックス なんて怖くない！ ゆるくてやさしいデジタルの話



ファイブジー
5G 第5世代移动通信システム

すごく速い最新の通信技術。一度に多くの情報を遅延なく送受信できる。

アイオーティー
IoT モノのインターネット

スマホやパソコンだけでなく、家電などあらゆるモノがインターネットにつながり、情報のやりとりがなされること。

ブイアール
VR 仮想現実

コンピューターとインターネットが作り上げる仮想の現実。最近では映像や音声がとてもリアル。

エーアイ
AI 人工知能

まるで人間の知能のように働く技術。たくさんさんのデータから「機械学習」して、どんどん賢くなる。



まあ、こんなの分からなくても、大丈夫ですけどねっ！

これらの技術が、DXを支えているんです。



ふむふむなるほど

よう分からん…

DXって何？

最近、いろいろなところで「DX」という言葉に出合いませんか？

DXとは、デジタル・トランスフォーメーション (Digital Transformation) の略称で、デジタル技術によって私たちの生活や社会のあり方が大きく変わることを意味する言葉です。

特に日本では、企業のデジタル技術を使ったビジネスの大変革を指して使われることも多いようです。

5G、IoT、VR、AIといった、まるで暗号のような名前の新技術の数々。それらが専門業界にとどまらず、一般の私たちの生活様式や社会の仕組みにまで影響を及ぼし、「デジタル社会」が実現することを示しています。

難しい技術の話はさておき、身の回りを見渡せば、その変化はすでに始まっています。

インターネットの登場で、図書館に行かなくても、さまざまな知識を瞬時に得られるようになりました。スマートフォン(スマホ)により、家族で囲んで見ているテレビ番組は、一人で視聴する動画配信サイトに代わりつつあります。

今後も次々と新しいサービスが登場し、私たちの生活を大きく変えていくでしょう。

そして、かつてSF映画で見たような、ロボットが人間のよう動き回ったり、人々が仮想現実の中で生活したり、といった社会が、近い将来、現実のものとなるかもしれません。

誰も取り残されない

「デジタル社会」などと聞くと、デジタル技術に精通しないと、これからは生き残っていけないのか…と不安を感じる人もいるかもしれません。

しかし、昨年発足したデジタル庁は、「デジタル社会について『誰一人取り残されない』ことを強調しています。

たとえパソコンやスマホが得意じゃなくても大丈夫。誰もが等しくデジタル技術の恩恵を受けられる社会がやって来ます。

デジタルは冷たい？

スマホやタブレットは「一人一台」の機器のため、「操作方法を自分で覚えて、何でも一人でやらなければいけない」…「ずっと機械が相手で、人のぬくもりが感じられない」そんなイメージもあるかもしれませんが、実は、必ずしもそうではありません。市内には、デジタル技術を通して、人と人との温かいつながりが生まれている例があります。

みんなでデジタル

中心市街地から約20分離れた山間にある殿下地区は、昨年度から「福井市地域コミュニティDX推進事業」のモデル地区に選ばれています。

一般に、デジタル技術は高齢者にとってハードルが高いと言われますが、殿下は市内で最も高齢化率の高い地域。それにもかかわらず、みんなで地域や自治会のデジタル化に精力的に取り組んでいます。

地域の連絡網をLINE公式アカウントを使って運営するほか、携帯ショップの講師を招いたスマホ教室や、自主勉強会「でんがく」などを開催しています。勉強会では、これまで、キャッシュレス決済、インターネット通販、ふるさと納税など、自分

たちが「分からない」「知りたい」と思うテーマを選んできました。誰かに一方的に教えてもらうというよりも、みんなでわいわい話しながら学ぶのが特徴です。

地域の絆も深まる

昨年12月に行われたスマホ教室には、福井商業高校JRC(青少年赤十字)部の生徒たちもボランティアとして参加。講師と生徒たちによる手厚いサポートは、「聞くに嫌がられるかも、と思って家族にはなかなか聞けない」「こういう場所があるととても助かる」と大好評でした。

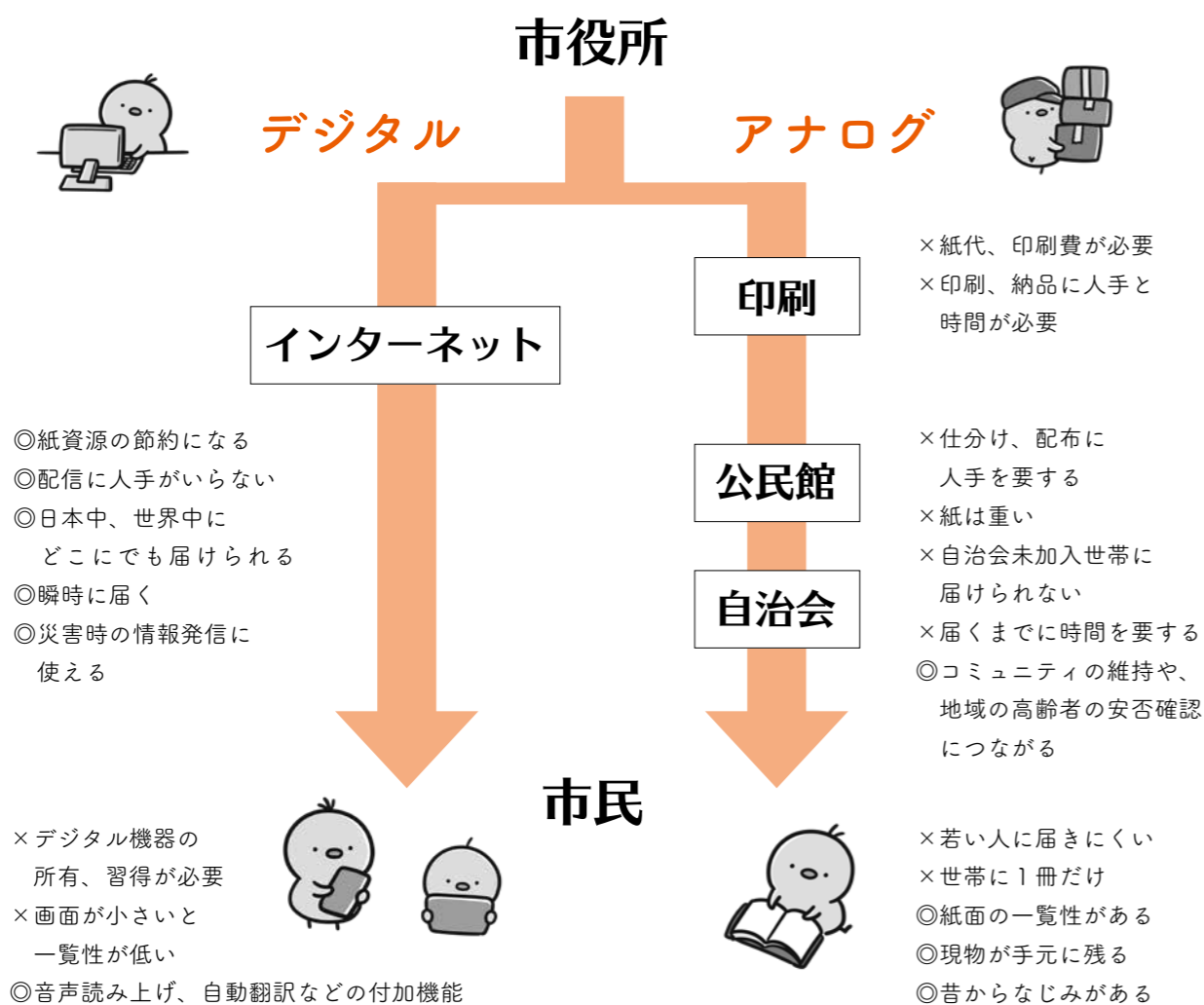
この日、殿下のまちづくり組織「うらの殿下委員会」のメンバーで、スマホが苦手なためLINEグループに唯一入ってなかった参加者が、教室のおか

げで、ついにLINEデビュー。「今まで次の予定を公民館まで確認しに来ていた。これでわざわざ出向かないで済む」と、本人も周りも大満足の様子でした。

「スマホなら私でも教えられる！」と参加したというJRC部の生徒たちは、殿下の人たちとすぐに打ち解けていました。「こんな山の中で、普段の買い物は不便じゃないのか」「私たちに何か手伝えることがあるのでは」など、地域課題について考える機会にもなったようです。

これらの活動は、集まり自体は対面式の「アナログ」な場ですが、デジタル技術を通して、従来の地域コミュニティがさらに絆を深めている好事例だと言えるでしょう。

「広報ふくい」の発行・配布とデジタル技術



スマホの画面を大きなディスプレイに映し出して講習を行う



アシスタント講師が個人をサポートする

デジタルは高齢者を救う

中心市街地を拠点に活動を続けているのは、ふくいICT倶楽部(福井ICT推進協議会)です。

中央公民館や市総合ホール、ティアセンターなどを会場に、スマホ講習会などを行うほか、デジタル庁の「デジタル推進員」として、各公民館で総務省の「デジタル活用支援推進事業」を担うなど、地域のデジタル化をサポートしています。

「スマホでLINEとGoogleアプリが使えるだけで、これまでに『社会的弱者』と呼ばれてきた人たちにとって、本当に多く

のことができるようになる」と話すのは、代表の佐藤紘一さん。全国的には三世帯同居率の高くも増えていると言います。

足腰が弱るとひきこもりがちになり、話す相手がいないと気持ちも頭も衰えてしまう。それを防ぐのに最適なのが、LINEのビデオ通話機能です。

年老いた家族と離れて暮らす若い人たちにも、ビデオ通話を使って、毎日少しでも話す時間を取ることを強く勧められているそうです。

「顔色や表情などから、電話では分かりにくい、ちよつとした違いに気付くことができる」と言います。

また、講習会の参加者間には、そこでの出会いがきっかけで、新しいコミュニティも生まれています。教室以外のところでも

就労支援の強い味方

デジタル技術を活用して連絡を取り合い、いつも仲良く楽しくうにしているのだとか。

個人のデジタル活用力を向上するだけでなく、高齢者全体を元気にすることが、活動の大切な目的なのだと言います。

スマホの基本操作を習得した人には、中級コースも用意。ウェブ会議ツールやクラウド(インターネット上で利用できるソフトウェアや記憶装置など)の活用方法を教えています。

出産、介護などで一度離職した人の再就職や、子育てしながらリモートワークをしたい主婦などの就労支援としても、デジタル技術は強い味方です。

障がいを持つ人にも恩恵

同時に力を入れていたのが、障がい者のためのデジタル技術活用です。

昨年の聴覚障がい者向けのスマホ教室では、相手の話す言葉をその場で文字に変換表示するアプリを使い、手話ができない健聴者とのコミュニケーション支援を行いました。

また、スマホ上の文字を音声にする機能を使い、目が不自由な人の社会参加を支援する活動



ふくいICT倶楽部代表の佐藤紘一さん

地域課題の解決策として

少子高齢化、人口減少など、地方都市が抱えるさまざまな地域課題の解決手段としても、デ

デジタルかアナログか？

その反面、昔ながらの紙媒体にしかない利点もあります。また、電子書籍だけにしてしまうことは、高齢者など、デジタル機器になじみがない市民を取り残してしまう恐れがあります。しかし、今回の特集で紹介した事例は、そうしたデジタル化の「副作用」を補完するような市民の皆さんの活動でした。「デジタル社会」においても、幸福で住みよい生活をみんな

デジタル技術には大きな期待が寄せられています。

ここでは、その一例として、本紙「広報ふくい」にまつわる課題を取り上げたいと思います。「広報ふくい」は毎月原則として2回、8万7000部を紙に印刷して発行しています。

社会の複雑化、市民サービス需要の多様化などにより、掲載すべき情報は増えていく一方、高齢化による社会保障費の増大や紙価高騰などにより、十分な紙面を確保することが年々難しくなっています。

また、印刷された広報紙は、各地区の公民館、自治会の皆さんの協力を得て、各世帯に配布しています。しかし、高齢化する地域社会にとって、かなりの重量になる紙の束を、毎回仕分けして配るといった作業は、大変な負担となっています。



公民館で自治会ごとに広報紙やその他の配布物を仕分けする

目指していくということに変わりはありません。その手段に、デジタル技術という新しい選択肢が加わっただけです。

ただし、その選択肢は、いまだかつてないほど強力なもので私たちの生活を劇的に向上させる力を持っています。

広報紙の課題に限らず、まちづくりや地域の運営において、デジタル技術とそれ以前の方法を、どのようなバランスで活用していくか、その答えは一つではありません。

皆さんは、この問題についてどう考えますか？

スマホで「広報ふくい」を読んでみよう！



令和5年は選挙の年 家族みんなで選挙に行こう！

令和5年は統一地方選挙の年。福井市で四つの選挙が行われます。

選挙は、皆さんの意見を政治に反映させるための大切な手段です。自分たちの未来を自分たちの手でよりよいものにするため、立候補者や政党について、よく調べ、自分たちの代表者を選びに投票へ行きましょう。

令和5年 福井市選挙スケジュール

選挙名	投票日
県知事選挙	4月9日(日)
県議会議員選挙	4月9日(日)
市議会議員選挙	4月23日(日)
市長選挙	12月ごろ

子どもたちに政治や社会について考えるきっかけを

国の政治のあり方を決め、それを実行することができる人を**主権者**といます。選挙年齢が18歳以上になったのを機に、国や社会の問題を自分の問題としてとらえ政治に関心を持つ大人になるよう、学校でも主権者教育が取り入れられるようになりました。

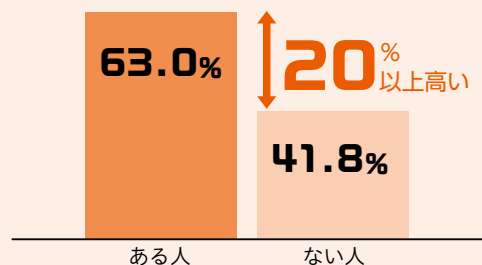
子どもたちのころに親の投票について行ったことがある人は、ない人よりも**投票率が20%以上も高い**という調査結果があります。普段から、大人が率先して政治や社会について関心を持って行動すれば、次世代にもそれを引き継ぐことができます。

自分たちの未来を決めるのは、自分たちです。政治に興味を持たず、政治を人任せにする人が増えていくと、取り返しのつかない未来が待っているかもしれません。

選挙は、国や社会、自分たちの将来について語り合う絶好の機会です。家族みんなで選挙に行きましょう。

問合せ 選挙管理委員会事務局 ☎ 20・5545 FAX 20・5743

子どものころに親の投票について行ったことのある人・ない人の投票率の比較



平成28年総務省「18歳選挙権に関する意識調査」より

18歳未満の子どもは、保護者と一緒に投票所に入ることができるよ。



めいすいザウルス

昨年12月28日から30日にかけて、神奈川県平塚競輪場において、「KEIRIN グランプリ2022シリーズ」が開催されました。その年のトップクラスの選手同士で競輪の日本一を決める同シリーズには、福井市出身の選手3人が出場。29日の「ガールズグランプリ2022」では柳原真緒選手が、30日の「KEIRIN グランプリ2022」では脇本雄太選手が、それぞれ初制覇を果たし、福井市出身の選手による「グランプリW初制覇」という快挙を成し遂げました。新王者・新女王として日本競輪界をリードする立場となった2人から、今後も目が離せません。

福井出身選手 W 初制覇



脇本選手



柳原選手

フォト かわら版



【KEIRIN グランプリ 2022】ゴールの瞬間

掲載情報に変更になることがあります

本号に掲載している情報は1月23日現在の情報です。新型コロナウイルス感染拡大防止などのため、情報に変更になることがあります。

施設の開館やイベントの開催状況は、掲載している各問合せ先に確認してください。

暮らし

マイナポイント付与の対象となる マイナンバーカードの申請期限が迫っています

「マイナポイント第2弾」のポイント（最大2万円分）をもらうためのマイナンバーカードの申請期限は、2月28日火です。

申請期限までにマイナンバーカードを申請した人、すでにマイナンバーカードを取得している人は、マイナポイント付与の対象となります。まだお持ちでない人は、この機会に取得しましょう。

◆市役所以外の申請窓口

とき	ところ	内容
2月18日(土) 10:00～15:00	みどり図書館【予約制】	申請
2月19日(日)、25日(土)、26日(日) 10:00～15:00	市美術館【予約制】	申請
2月22日(水)、23日(木祝) 10:00～15:00	ショッピングシティベル 1階北コート	申請、マイナポイントの手続き

ホームページで、最新の日程の確認や予約ができます。

問合せ・予約先 福井市マイナンバーカードコールセンター
☎ 50・7423（平日9時～17時） FAX 20・6032

ホームページ



マイナンバーカード

休日窓口

とき 3月5日(日) 9時～16時

12日(日) 9時～16時

25日(土) 9時～13時

ところ 市役所本館1階市民課
内容 マイナンバーカードの申請、

受け取り、電子証明書の更新、暗証番号の再設定、マイナポイントの手続き
※マイナポイントの手続き以外は、予約が必要です。

問合せ・予約先 福井市マイナンバーカードコールセンター
☎ 50・7423 FAX 20・6032

PM2.5に

注意しましょう

冬から春にかけて、大気中に浮遊する微小粒子状物質（PM2.5）の濃度が上昇する傾向にあります。PM2.5の注意喚起が出されたら、次のことに注意しましょう。

- ・不要不急の外出や、屋外での長時間の激しい運動は控える
- ・換気や窓の閉閉を最小限にする
- ・特に、呼吸器系や循環器系に疾患のある人や、子どもや高齢者は、体調に応じて慎重に行動する
- ※注意喚起は、市内の屋外スピーカーや市のホームページなどで行います。

問合せ 環境廃棄物対策課
☎ 20・5398 FAX 20・5675

悩みごと総合相談会

独りで悩みを抱えていませんか。専門家が、対面またはオンラインで相談に応じます。複数の専門家へ相談することもできます。

とき 3月11日(出)
13時30分～16時30分
(1人35分)

ところ 市保健所（西木田2丁目）
内容 次の専門家による個別相談

- ・弁護士（法律）
- ・精神科医師（心の治療）
- ・臨床心理士（心の健康）
- ・就労支援相談員（就労）
- ・障がい者基幹相談支援セン

ター相談員（障がい福祉）

・ケアマネジャー（介護）

・生活困窮者自立支援相談員

（困窮）

・依存症相談員（依存症）

定員 各専門家につき4人まで

（先約順）

申込 2月15日(水)から電話受付

問合せ・申込先

市保健所保健支援室

☎ 33・5185

FAX 33・5473



ホームページ

有料広告欄

広告内容を福井市が推奨するものではありません。

広告申込先 日勝アド・エージェンシー（☎ 21・0081）

暮らし

福祉

健康

子育て

催し・講座

募集

その他

- ◆料金の記載のないものは無料です。
 - ◆申込の記載のないものは申込不要です。
 - ◆申込時は次の**共通事項**をお知らせください。
- 共通事項** 行事名、住所、氏名(よみがな)、年齢、電話番号

臨時休館
◆愛宕坂茶道美術館
☎・FAX 33・3933
2月26日(日)～3月3日(金)
《展示替えおよび工事のため》

1月1日の人口と世帯

・人口 257,911人(前月比-174)
男 125,186人、女 132,725人
・世帯 106,800世帯(前月比-7)

手話通訳者・要約筆記者を派遣します

市が主催する行事へ手話通訳者・要約筆記者の派遣を希望する人は、各行事の担当課または障がい福祉課へ連絡してください。
問合せ 障がい福祉課 ☎20・5435 FAX 20・5407

福祉

男性介護者のつどい

在宅で介護をする男性が増えていきます。日頃の介護や家事のことなどを気軽に話してみませんか。

とき 3月15日(水)10時～11時30分

ところ フェニックス・プラザ 301号室

対象 介護している、またはしていた人

内容 ミニ講座と交流会

問合せ ぽやねっと中央北(見鳥) ☎27・5166 FAX 63・5633

健康

こころの講演会

心の病気を予防し、心も体も元気に過ごす方法を学びませんか。講演会後には簡単な体操もあります。

とき 3月17日(金)10時20分～12時

ところ 総合ボランティアセンター(ハプリン4階)

講師 心理相談室アシスト代表 岡本克己氏ほか

定員 20人程度(抽選)

申込 3月3日(金)まで、電話、FAXまたはEメール受付

問合せ・申込先 障がい福祉課 ☎20・5435 FAX 20・5407
✉fukusi@city.fukui.lg.jp

催し・講座

手話ミニ講座

聴覚に障がいのある人の話を通して「聞こえないこと」について一緒に考えます。自己紹介やあいさつなど簡単な手話を学ぶことができます。

とき 3月11日(土) 13時30分～15時30分

ところ フェニックス・プラザ 301号室

対象 市内に住むか通勤・通学する人

講師 福井市聴力障害者福祉協会

定員 20人(抽選)

申込 2月28日(火)まで、電話、FAXまたはEメール受付

問合せ・申込先 障がい福祉課 ☎20・5435 FAX 20・5407
✉fukusi@city.fukui.lg.jp

三世代バザー・合同のつどい

壮年会、婦人会、老人クラブなどの団体が協力して実施します。

とき 2月26日(日)

じかん 10時30分～11時30分

ところ フェニックス・プラザ 301号室

※バザーの品物は、当日決定します。
◆三世代合同のつどい
各団体による活動発表やアトラクション、お楽しみ抽選会など、世代

子どもアトリエ 紙を使った版画

さまざまな種類の紙を切り貼りして版画作品を作ります。

とき 3月12日(日)14時～16時

ところ 市美術館

対象 小学生以上

定員 20人(抽選)

参加費 1300円

申込 3月2日(休)(必着)までに、往復はがきで、共通事項と学校名、学年をお知らせください。

問合せ・申込先 〒918-8112 福井市下馬3丁目1111 市美術館 ☎33・2990 FAX 33・3114

あそびとえほん スタンプぺたぺた

身近なものをスタンプにしてカードを作ります。手紙や贈り物に関する絵本の読み聞かせもします。

とき 2月25日(土)14時～14時30分

ところ 田原町ミューズ

対象 4歳～小学生

定員 6人(先着順)

申込 2月15日(水)10時から電話受付
問合せ・申込先 市立図書館 ☎20・5000 FAX 34・8499

朗読会

「赤い鳥」の作家たち

「山椒魚」など、三作品を朗読します。

とき 2月25日(土)14時～15時30分

ところ みどり図書館

対象 中学生以上

朗読 朗読講師 南場恭子氏

定員 35人(先着順)

申込 2月15日(水)10時から、電話または窓口受付

問合せ・申込先 みどり図書館 ☎34・8859 FAX 34・8499

ブルレックス 筋トレ&水中運動・水泳教室講座

とき 3月6日～24日の月・金曜日(全6回)

ところ 東山健康運動公園

対象 16歳以上で医師から運動を制限されていない人

※子ども連れの人は受講できません。

定員 20人(抽選)

受講料 1620円

申込 2月17日(金)17時まで、窓口または電話受付

※利用料金が別途必要です。
問合せ・申込先 東山健康運動公園 ☎54・9190 FAX 54・9179

間交流イベントを行います。

じかん 13時～16時

ところ フェニックス・プラザ2階 小ホール

◎いずれも…

問合せ 地域包括ケア推進課 ☎20・5400 FAX 20・5426

障がい者スポーツ教室

障がいのある人もない人も、一緒に楽しく体を動かしましょう。子どもから大人まで楽しめます。

とき 3月4日(土) 13時30分～15時30分

ところ ちもり体育館(洲4丁目)

対象 市内に住む、または通勤・通学する人

内容 フライングディスク、車いすスラローム、卓球バレー

講師 障がい者スポーツ指導員

持ち物 タオル、室内用シューズ、飲み物など

問合せ 障がい福祉課 ☎20・5435 FAX 20・5407

小学生ソフトテニス 教室

とき 4月8日～11月25日の土曜日(全20回)

ところ 西公園テニスコートほか

対象 市内に住む新小学1～4年生

観光おもてなし 市民運動推進大会

市民総ぐるみで観光客を温かく親切に迎える「観光おもてなし市民運動」。その一環として、初代ザ・リッツ・カールトン・ホテル・カンパニー日本支社長を招いた講演会などを行います。

とき 3月4日(土)14時～16時

ところ 県国際交流会館

講師 人とホスピタリティ研究所 代表 高野登氏

内容 観光おもてなし市民運動の紹介

・感動おもてなし大賞表彰式
・観光おもてなしマイスター認定式
・基調講演

定員 150人(先着順)

申込 2月15日(水)から、FAXまたはEメールで申込書を送るか、申込フォームから申し込みください。

※申込書はホームページにあります。

問合せ・申込先・ホームページ

おもてなし観光推進課 ☎20・5346 FAX 20・5670

✉kankou@city.fukui.lg.jp

申込フォーム



申込フォーム

有料広告欄

金融講座 知っておきたい相続

相続、贈与の仕組みについて学び、今から準備できることを考えませんか。

とき 3月17日(金)13時30分～15時

ところ みどり図書館

講師 行政書士 青木克博氏

定員 35人(先着順)

申込 2月15日(水)10時から、電話またはEメール受付

問合せ・申込先 みどり図書館 ☎34・8859 FAX 34・8499
✉midorikan@city.fukui.lg.jp



申込フォーム

- ◆料金の記載のないものは無料です。
 - ◆申込の記載のないものは申込不要です。
 - ◆申込時は次の**共通事項**をお知らせください。
- 共通事項** 行事名、住所、氏名(よみがな)、年齢、電話番号

福井市の最新情報はこちらから



下水道受益者負担金の納入

第4期の納期限は2月28日(火)です。
問合せ 上下水道サービス課
 ☎ 20・5632 FAX 20・5637

新型コロナワクチン 福井市コールセンター

☎ 20・5700 FAX 20・5673 (日祝除く9時~17時)
 ワクチン接種に関する問い合わせや、接種の予約を受け付けています。接種の予約は、パソコンやスマホでもできます。

予約受付

定員 10人(抽選)
持ち物 そろばん
申込 2月28日(火)(必着)までに、

役高校生が分かりやすく教えます。現役高校生が分かりやすく教えます。現

対象 そろばん初心者の小学生(保護者同伴)

ところ アオッサ会議室502

とき 3月12日(日)14時~16時

参加費 1000円

申込 2月19日(日)までに、Eメールで、共通事項と希望をお知らせください。

問合せ・申込先 足羽山公園事務所
 ☎ 34・1680 FAX 43・1434
 ☒ zoo@city.fukui.lg.jp

できたが増える！
 楽しいそろばん

大人になる講座
高校生のための パーソナルカラー

高校卒業後に役立つ身だしなみ講座の一環として、自分に似合う「パーソナルカラー」を学びます。

とき 3月4日(土)
 13時30分~16時30分

ところ アオッサ6階

対象 高校生(女子限定)

定員 10人(抽選)

申込 2月24日(金)(必着)までに、Eメールまたは申込フォームで、共通事項とEメールアドレス、高校名、学年をお知らせください。

問合せ・申込先 中央公民館
 ☎ 20・5459
 FAX 20・1538
 ☒ cyou-k@mx1.fctv.ne.jp

申込フォーム

女性視点の起業と事業承継を考えるセミナー

とき 3月2日(休)
 13時30分~15時40分

ところ 福井商工会議所ビル (西木田2丁目)

対象 創業希望者、後継者候補、事業引き継ぎ希望者など

講師 (株)インブルーメンツ 代表取締役社長 平美都江氏ほか

内容 講演・事例発表

申込 2月22日(水)までに、申込書をFAXしてください。

※申込書など、詳しくは市商工振興

大人の飼育体験

「動物が好き」「飼育員を目指している」という人向けの飼育体験です。

とき 3月12日(日)
 8時~11時30分、13時30分~17時

ところ 足羽山公園遊園地

対象 高校生以上

定員 各回10人(抽選)

参加費 1000円

申込 2月19日(日)までに、Eメールで、共通事項と希望をお知らせください。

問合せ・申込先 足羽山公園事務所
 ☎ 34・1680 FAX 43・1434
 ☒ zoo@city.fukui.lg.jp

歴史講座
サムライ・ジャパンの大学校

1872年に、福井から東京の大学南校(東京大学の前身)に移ったグリフィスの功績と、同僚の外国人教師、全国諸藩出身の生徒、同時期に起こった日本野球の伝来などについて紹介します。

とき 3月4日(土)13時~14時30分

ところ 愛宕坂茶道美術館

定員 13人(先着順)

申込 2月18日(土)10時から電話受付

問合せ・申込先 グリフィス記念館
 ☎ FAX 50・2911

池のほとりのアート展

「光」をテーマに公募したアート作品を展示します。お気に入りの作品を見つけて、人気投票に参加してください。

とき 2月11日(土祝)~
 9時~17時
 ※3月1日からは19時に閉館します。入園は、閉園の30分前までです。

問合せ・申込先 中央公民館
 ☎ 20・5459
 FAX 20・1538
 ☒ cyou-k@mx1.fctv.ne.jp

申込フォーム

空襲・震災後の福井市の建築都市復興史

県都の戦後復興期の歩みを、郷土を愛した建築技術者たちの活躍を通して話します。

とき 3月12日(日)10時~11時30分

ところ アオッサ研修室601

講師 福井工業大学教授 市川秀和氏

定員 30人程度(先着順)

申込 2月15日(水)9時から、電話またはEメール受付

問合せ・申込先 (公財)歴史のみえるまちづくり協会
 ☎ FAX 35・0855
 ☒ info@fukui-rekimachi.jp

ボランティア講座
楽しく学ぼう！
レクリエーション

ボランティア活動に役立つコミュニケーションスキルを、レクリエーションを通して学びませんか。

とき 3月19日(日)10時~12時

ところ 総合ボランティアセンター (ハピリン4階)

対象 ボランティアに関心のある人、ボランティア活動を経験したことがある人

講師 福井県レクリエーション協会 斎藤聖子氏

定員 20人(先着順)

申込 2月15日(水)9時から、電話、FAXまたはEメール受付

問合せ・申込先 総合ボランティアセンター
 ☎ 20・5107 FAX 20・5168
 ☒ volunteer@city.fukui.lg.jp

世界を旅する
エコトリッパー

世界の環境や文化について、楽しく学んでみませんか。今回はキルギス出身の人から話を聞きます。

とき 3月5日(日)14時~15時30分

ところ アオッサ研修室607

対象 市内に住む人

内容 キルギスの環境と文化・羊毛フェルトを使ったコースター作り

講師 キルギス出身 コジヨベコフ氏

定員 20人(抽選)

ハピリンLabo
演劇をつくらう！

ハピリンホールで一緒に演劇をしませんか。

とき 3月30日(休)19時~21時30分

ところ ハピリンホール (ハピリン3階)

対象 高校生以上

定員 20人(先着順)

講師 演劇やむなし

申込 2月15日(水)から、Eメールで、共通事項と職業(学校、学年)、当日連絡が取れる携帯電話番号をお知らせください。

問合せ・申込先 にぎわい交流施設
 ☎ 20・2901 FAX 20・2071
 ☒ info@nigwai.ftmo.co.jp

みんなの環境学習
カブトムシの生態を学ぼう！

足羽山に生息するカブトムシの生息環境や飼育方法を通して、身近な自然環境について考えてみませんか。

とき 3月11日(土)13時30分~15時

ところ 自然史博物館

対象 市内に住む小学生とその保護者(各1人ずつで1組)

内容 足羽山における昆虫の生息環境や生態・飼育方法

講師 生息地で幼虫の捕獲 昆虫シヨップ GHOST代表 江ノ畑直人氏

定員 10組(抽選)

参加費 1組300円(虫かご付き)

申込 3月2日(木)まで、電話または申込フォーム受付

問合せ・申込先 福井市環境推進会議(環境政策課内)
 ☎ 20・5609
 FAX 20・5754

申込フォーム

分前までです。

入園料 220円

問合せ 文化振興課
 ☎ 20・5367 FAX 20・5670

環境政策課内)

問合せ・申込先 福井市環境推進会議(環境政策課内)
 ☎ 20・5609
 FAX 20・5754

申込フォーム

参加費 500円(お土産付き)

申込 2月22日(水)まで、電話または申込フォーム受付

問合せ・申込先 福井市環境推進会議(環境政策課内)
 ☎ 20・5609
 FAX 20・5754

申込フォーム

有料広告欄

- ◆料金の記載のないものは無料です。
 - ◆申込の記載のないものは申込不要です。
 - ◆申込時は次の**共通事項**をお知らせください。
- 共通事項** 行事名、住所、氏名(よみがな)、年齢、電話番号

防災気象情報メールに登録しましょう

福井市に発令された避難指示などの避難情報や注意報・警報などの気象情報を、携帯電話やスマートフォンなどにお知らせします。

問合せ 危機管理課 ☎ 20・5234 FAX 20・5235



納期限は2月28日(火)です

- 4期 固定資産税
 - 8期 国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料
- 納税・納付は便利な口座振替で

福井県 新型コロナワクチン接種相談センター

☎ 20・2210 FAX 20・0797(土日・祝日含む24時間)

基礎疾患がある、薬を服用している、副反応があるなど、ワクチン接種に関して医学的な知見が必要な相談を受けています。

公用車 広告主募集

市職員が業務のため使用する公用車の車体両側面に掲載する広告を募集します。

掲載期間 4月1日(土)～令和6年3月31日(日)

大きさ 縦300mm×横500mm(片側)

募集数 3組(5台1組)

掲載料 月額7500円(税込)

申込 2月10日(金)から、掲載開始を希望する1か月前までに、申請書と必要書類を窓口へ提出または郵送してください。

※申請書はホームページからダウンロードできます。

募集要件など、詳しくはホームページをご覧ください。

問合せ・申込先・ホームページ
〒910-8511
福井市役所施設活用推進課
☎ 20・5275 FAX 20・5778



掲載イメージ

募集

「広報ふくい」表紙写真募集

今年4月に小学校に入学する子の笑顔をとった写真を募集します。採用の場合は、広報ふくい4月10日号の表紙に掲載します。新入学の記念に表紙を飾りませんか。応募者全員に、表紙風に加工した画像データを差し上げます。

募集テーマ

- ・入学を心待ちにしている様子が伝わるもの
- ・新生活への期待感などが伝わり、4月をイメージさせるもの

応募要件

- ・市内に住む、今年4月に小学校へ入学する子が写っている
- ・写真は縦長で撮影し、写真の上部に広報紙のロゴが入るように、4分の1程度のスペースをとる
- ・写真は3MB以上で7MB以下のJPEGデータ など

応募方法

ホームページから応募するか、申込書と写真データを収めたSDカードを窓口を持参してください。

※申込書は窓口とホームページにあります。

応募要件など、詳しくはホームページをご覧ください。

応募締切 2月28日(火)

問合せ・応募先 広報課
☎ 20・5257 FAX 20・5438



昨年の4月10日号



ホームページ

その他

古雑誌無料配布

平成31年1月から12月までに発行された雑誌を無料で配布します。

◆田原町ミニ図書館
2か月分ずつ入れ替えて配布します。

とき 2月17日(金)～5月11日(木)の
田原町ミニ図書館開催時間中

ところ 田原町ミューズ
市立図書館

問合せ 市立図書館
☎ 20・5000 FAX 34・8499

◆桜木図書館
月に1回、2か月分ずつ入れ替えて配布します。

とき 2月17日(金)～8月16日(水)の
開館時間中

ところ 桜木図書館

問合せ 桜木図書館
☎ 20・1530 FAX 20・1531

◆みどり図書館
10時台に参加するには、申し込みが必要です。11時以降の回は予約不要です。

とき 3月4日(土)
10時～17時のうち毎時00分

じかん 20分、40分

定員 各回30人(先着順)

申込 2月17日(金)10時から電話受付(1回につき3人まで)

問合せ・申込先 みどり図書館
☎ 34・8859 FAX 34・8499

◆清水図書館
所蔵雑誌を雑誌名の50音順に、2

まち美化パートナー募集

まち美化パートナー制度とは、市民と市が協働し、お互いの役割分担を定め、公園や河川の美化活動を行う制度です。この制度を活用し活動するグループを募集しています。

- 対象** 市が管理する公園や河川での清掃、除草、花植えなどの美化活動を行う5人以上のグループ
- 支援内容** ほうき、ちりとりや花苗などの支給、貸与
- 申込** 随時、公園課または河川課の窓口受付

問合せ 市民協働・ボランティア推進課
☎ 20・5107 FAX 20・5168

有料広告欄

健康ふくふくプラン21 アンケートにご協力ください

第2次福井市健康増進計画「健康ふくふくプラン21」の課題を整理し、次期計画策定の基礎資料とするため、市民の健康に関するアンケート調査を実施します。

対象者には1月下旬に調査票を郵送しています。調査票が届いた人は、アンケートの回答に協力をお願いします。

対象 市内に住む18歳以上の1500人(無作為抽出)

回答期限 2月17日(金)

問合せ 市健康管理センター
☎ 28・1256 FAX 28・3747

回到分けて配布します。

とき 「あ」から順に27誌程度まで

じかん 3月4日(土)、5日(日) 3月11日(土)、12日(日)

問合せ 清水図書館
☎ 98・3820 FAX 98・8813

◆美山図書館
3月11日(土)～31日(金)の開館時間中

問合せ 美山図書館
☎ FAX 90・1700

◎いづれも：
※持ち帰り用の袋を持参してください。配布冊数は1人10冊まで(1タイトルにつき3冊まで)です。配布雑誌がなくなり次第終了します。

福井市行政チャンネル(ケーブルテレビ121ch) ふくチャンネル 番組情報

番組名	内容	放送期間
いきいき情報ふくい	あなたもゲートキーパーに —こころのサインを見逃さないで—	2/15まで
	1月をプレーバック	2/16～2/28
やろっさFUKUI	ビルを高校生が装飾! 壁面アートプロジェクト	2/15まで
	新幹線ウェルカムダンスで機運アップ ダンスインストラクター 奥井麻結さん	2/16～2/28
福アワセ	福井の酒からしあわせみ～つけた —美川酒造—	2/28まで
市役所情報局	雪国TV! スノーなんです!	2/15まで
	それゆけ! 福井市調査隊 「越前水仙Reborn プロジェクトを探れ!」	2/16～2/28

※放送時間や内容は、変更することがあります。詳しくは、広報課のホームページまたは福井ケーブルテレビ番組ガイド「けーぶるちゃん。」をご覧ください。一部の番組は、YouTubeでも配信しています。



YouTube



「相馬の古内裏」部分

浮世絵師 歌川国芳展

2月18日【土】～3月26日【日】

歌川国芳は、江戸時代後期、葛飾北斎や歌川広重と同じ時代に活躍し、奇抜な構図と大胆な表現によって「奇想の浮世絵師」として江戸庶民から大きな支持を得ました。本展では、代表作「通俗水滸伝豪傑百八人之老人」、「相馬の古内裏」、「忠臣蔵」などの浮世絵作品を中心に約150点を展示し、国芳の浮世絵の魅力を紹介します。

じかん 9時～17時15分

※入館は16時45分までです。2月18日(土)は10時開場です。

休館日 2月20日(月)、24日(金)、27日(月)、3月6日(月)、13日(月)、22日(水)

観覧料 一般 1000円／高校・大学生 800円／小・中学生 500円

※障がい者とその付添人1人、未就学児は無料です。

常設展の観覧料を含みます。

◆作品解説会

とき 2月19日(日)、3月5日(日)、19日(日)

14時～14時30分

◆対談会「国芳の浮世絵について」

前田詩織さん(元中山道広重美術館学芸係長)と担当学芸員による対談です。

とき 2月23日(木祝) 14時～

◆アトリエチャレンジ

とき 会期中の9時～16時45分

参加費 100円

(観覧券提示で1回無料)

- ①国芳のぬり絵
- ②カラー版画制作を体験(土・日曜日、祝日のみ)



「みかけハこハみがとんたい人だ」部分

福井市美術館 [アートラボふくい] ☎ 33・2990 FAX 33・3114

発行：福井市

編集：〒910-8511 福井市大手3丁目10番1号
広報課 TEL(0776)20-5257 FAX(0776)20-5438
URL: <http://www.city.fukui.lg.jp/>

再生紙使用

